

一 般 質 問

平成25年9月議会定例会

TPPを見据えた農業振興策は。
町長：農業生産構造の強化を図る。



今井吉男 議員

地区、田皆岩之平地区、第一と第二西原地区は、平成二十七年度的新規採択に向けて進めていく。

田皆メーバル地区の土地基盤整備事業ができないか。

町長 平成二十六年度的までに推進委員会の立ち上げと事業説明会、意向確認調査を実施する。

低迷する商工業の振興策は。

町長 商店街の活性化のため町と商工会がタイアップし各種事業を導入、本年度は3本の事業を導入する。

定住人口の増加対策は。

町長 移住体験ツアーや体験プログラム等の定住促進等の施策を実施している。

少子・高齢化に対応する福祉対策は。

土地基盤整備完了地区の早期畑かん事業導入は。

町長 第一と第二矢護仁屋

町長 今後も、子育てを地域、職場、世代間の協力を仰ぎながら、子供を産み育てる施策を講じていく。

町の財政基盤強化策は。

町長 今後も、必要な事業なのか精査し、財政健全化を図りながら町政運営をしていく。

沖永良部に障害者支援施設の建設はできないか。

町長 現在二十一名の方が島外での入所を余儀なくされている。関係機関と連携を図りながら取り込む。

琉球・奄美諸島の世界自

然遺産登録に伴う観光客誘致に向けた取り組みは。

町長 二〇一〇年の冬から始まった「あまみシマ博覧会」を通して島外からの観光客誘致に取り組んでいる。今後も、沖永良部観光連盟や関係機関と連携して推進していく。

田皆岬の国立公園移行に伴う事業で、田皆岬周辺の道路改良とカーブ補正等ではないか。

町長 国直轄の整備は、第一種特別地域以上の地域区分でないといけない。田皆岬周辺は町道なので、主管課と協議する必要がある。

